

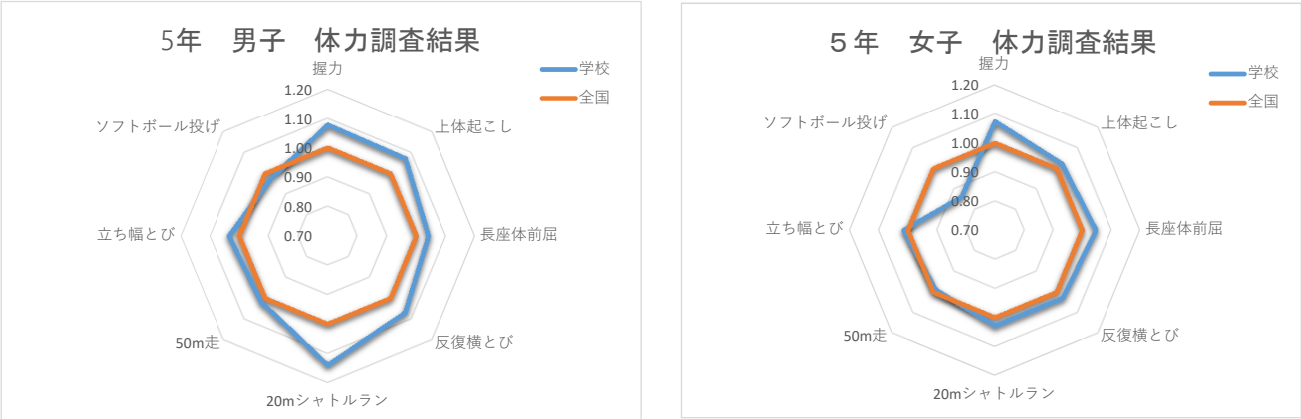
令和4年度

茨木市立

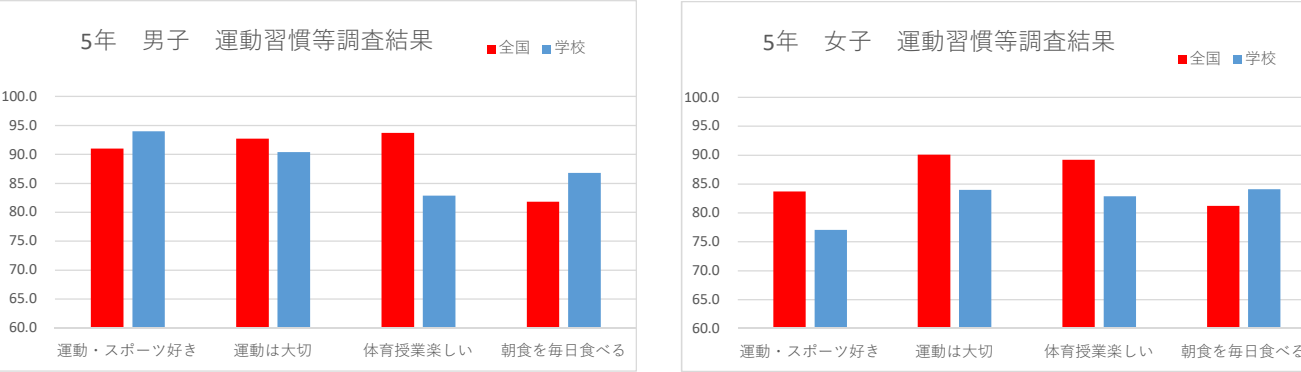
春日小学校

元気力向上プラン

1. 現状（令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より）



※全国の前平均値を1として、学校の比を示しています。



※「運動・スポーツが好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」については、肯定的な回答の割合を示しています。

2. 改善プラン

① 現状と課題

コロナ禍であるとはいえ、運動や体育に対する情意の面で、大阪府や茨木市よりも低い。  
（→運動が苦手で、体育が好きでない児童が一定数おり、そのような児童を中心に、授業では、たくさん動いている感覚を持てていないのでは）  
ボールを投げる力が弱く、運動が苦手な児童ほど、ボールを投げる経験が少ない。（他の動きは比較的、休み時間や授業で保証されやすい）  
（→ボールを投げる機会は、授業で保障する必要があるが、学校全体として系統的に力をつけていくという意識は高くない）

② 目標・めざす子ども像

・授業や体育的行事を通して、運動が好きな児童をふやし、児童の体力を伸ばす

③ 取組み

| 取り組み内容                                                       | 対象学年 | 取組時期 | 元気力としての観点 |    |      |    |
|--------------------------------------------------------------|------|------|-----------|----|------|----|
|                                                              |      |      | 体力        | 保健 | 生活習慣 | 食育 |
| 運動が苦手で、体育が好きでない児童に焦点を当てた授業実践の意識化（授業づくり、授業中の声かけ、指導にいかす評価）     | 全学年  | 通年   | ○         |    |      |    |
| 授業をしやすくするための環境整備（体育倉庫の整理、カリキュラムの試行、年間指導計画の試行（同時期同内容による用具の共有） | 全学年  | 通年   | ○         |    |      |    |
| カリキュラムと年間指導計画の実施によって、6年間を通じたボールを投げる機会の保証とボールを投げる力の系統的育成      | 全学年  | 通年   | ○         |    |      |    |
| 朝食を毎日食べる大切さについての食育通信を作成する。（児童家庭への働きかけ）                       | 全学年  | 通年   |           |    |      | ○  |
| けがを防ぐための意識を持ち安全な行動をとれるよう、状況を把握し情報を共有、指導・対応にいかす。              | 全学年  | 通年   |           | ○  |      |    |
| 基本的な生活習慣の大切さを、保健だより・保健指導等を通じて児童や家庭に伝えていく。                    | 全学年  | 通年   |           |    | ○    |    |
|                                                              |      |      |           |    |      |    |
|                                                              |      |      |           |    |      |    |
|                                                              |      |      |           |    |      |    |